

福祉

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福 祉	介護実習	4	3年次・L群	選択
使用準教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
最新介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習（中央法規）		介護実習ノート （新居浜南高等学校）		福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、根拠に基づいた介護及び支援を実践するために必要な資質・能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技術	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学期	1 多様な介護の場における実習 (1) コミュニケーションの実践 (2) 多職種協働及びチームケアの理解 2 個別ケアを理解するための継続した実習 (1) 個別的な介護技術の実践 (2) 介護過程の実践		6	・利用者の状況や心身の状態に応じたコミュニケーションの技法を習得する。 ・一人一人に対応した介護が提供できる。 ・多職種協働やチームケアの実践について理解する。 ・利用者の解決すべき生活上の課題を明確化し、介護過程の実践を行う。	1 2 3
	2 学期	1 多様な介護の場における実習 (1) コミュニケーションの実践 (2) 多職種協働及びチームケアの理解 2 個別ケアを理解するための継続した実習 (1) 個別的な介護技術の実践 (2) 介護過程の実践		11	・利用者の状況や心身の状態に応じたコミュニケーションの技法を習得する。 ・一人一人に対応した介護が提供できる。 ・多職種協働やチームケアの実践について理解する。 ・利用者の解決すべき生活上の課題を明確化し、介護過程の実践を行う。	1 2 3
	3 学期					
学 習 評 価	観点	1. 知識・技術		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○サービス利用者の状態や状況に応じた実践的なコミュニケーションや介護技術について理解し、関連する技術を習得しているか。 ○介護を必要とする人の尊厳を守る介護の基本を理解し、実践しているか。		○介護の場における支援のあり方について課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決しようとしているか。 ○校内の学習内容と関連付けて考えることができているか。 ○福祉的な見方や考え方をもとに、課題の設定や考察、表現ができているか。		○介護実習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。 ○積極的に課題解決に向けて、取り組んでいるか。 ○福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。
	手 段	・実習の取組状況の観察 ・日誌、個別介護計画書 ・評価表		・実習の取組状況の観察 ・日誌、個別介護計画書 ・評価表		・実習の取組状況の観察 ・日誌、個別介護計画書 ・評価表
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
	学習上の留意点	・実習指導者と実習の目標を共有するなど連携を図りながら、意欲的に実習に取り組む。 ・「生活支援技術」「こころとからだの理解」等の学習内容と関連させながら学習する。 ・サービス利用者の個人情報の取り扱いに留意する。				